

**1 電源スイッチ**

押せば本機の電源が入り、スイッチ周囲のリング状のインジケータが点灯して、本機が動作状態であることを示します。

**2 インジケータランプ A・B・C**

本機の保護回路が作動中であることを点灯して表示します。電源投入直後は保護回路が働くため点灯して音が出ませんが、数秒後にはインジケータが消えて演奏が可能になります。また演奏中に本機が異常な高温になった場合にも点灯しますが、トラブルの原因が取り除かれて温度が下がると自動的に消えます。トラブルが発生した際にはパワースイッチをOFFにし、アンプを冷却するなどトラブルの原因を取り除いた後にパワースイッチをONにしてください。

**3 可変ポリウム A・B・C 各チャンネルのコントロール**

フロントパネルにあるA・B・Cの3つのチャンネルコントロールで、入力レベルを調節します。これでアンプのゲインを他のコンポーネントに合わせることができます。A・B・Cのレベルをコントロールをするためには、各A・B・Cのチャンネルを、小さくて平らな刃のねじ回しを使って調節してください。ゲインを増やすには時計回りに、ゲインを増やすには反時計回りに回してください。

**4 RCA入力端子 A・B・C 3系統**

これらはブリアンプあるいはサラウンドサウンドプロセッサから、オーディオ信号を受信します。最良のパフォーマンスのために、高品質のケーブルを使ってください。RMB-1506のLEFT入力には、ブリアンプの左チャンネルの出力を、RIGHT入力にはブリアンプの右チャンネルを接続してください。RCA入力の右にある入力スライドスイッチが、STEREOポジションにあることを確認してください。MONOのスイッチがONポジションにある時、左の信号又は右の信号入力は、MONO信号として両方のスピーカーに供給されます。

B・C 入力の右側にあるスライドスイッチを、LINKポジションにすることにより、A入力接続からの入力信号はリンクされたアンプへも信号が送られます。同じステレオ信号で、3つのステレオアンプを同時に駆動します。

**5 信号出力端子、他のアンプへ接続**

このRCA接続は、追加のRMB-1506や他のオーディオコンポーネントに、入力信号を転送することができます。A入力コネクタに接続された入力信号は、この出力端子から追加のRMB-1506へ信号を送ることが出来ます。

**6 12Vトリガー イン&アウト**

ローテルブリアンプあるいはサラウンドサウンドプロセッサから、+12Vのトリガー信号を送るワイヤーを接続するための入力ジャックで、アンプのON/OFFを操作します。この機能を使うためには、隣のスイッチをONにして

ください。トリガー入力は、モノラルの3.5mmミニジャックコードを使用して3ボルトから30ボルトまでのどんなコントロール信号（AC又はDC）も受付ます。モノラルの3.5mmミニジャックコードを使用してください。出力ジャックには+12V DC信号が出ます。OUTと表記された12Vトリガージャックは、2台目のRMB-1506に接続し、アンプのON/OFFを操作します。

**7 オートターン ON/OFF モードセクター**

RMB-1506は手動あるいは自動で、電源オン/オフの操作をするバックパネルにある3ポジションのスライドスイッチを使って選択できます。

- OFF — 手動で操作
- SIGNAL SENSE — 入力信号のあり、なしで自動操作
- 12V TRIG — +12Vのトリガー信号で自動操作

**8 スピーカー端子 A, B, C 3系統**

スピーカーケーブルを使用してスピーカーシステムの入力端子と接続します。

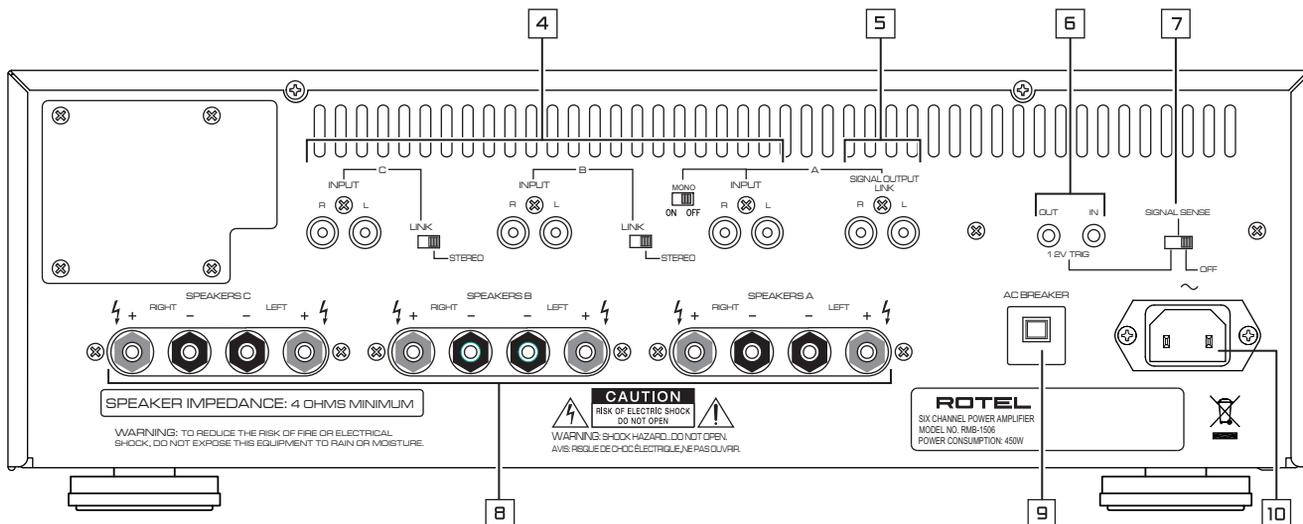
**9 ACブレーカー**

後部パネルにあるブレーカーが、アンプの電気回路を保護します。一般的にブレーカーは、過剰な電流が発生した状態の時に作動します。ブレーカーをリセットするには、そのボタンを押してください。

**10 ACインレット**

付属の電源ケーブルを接続してください。

[外形寸法] 431mm (幅) × 144mm (高さ) × 449mm (奥行)  
[質量] 15.3Kg



# 接続図

